

ケーイービー・ジャパン株式会社

事業計画名

永久磁石式電磁クラッチ・ブレーキの国内開発及び生産体制の構築

着磁装置導入で試作開発から製品製造まで一貫生産が可能に
永久磁石式電磁クラッチ・ブレーキで医療機器分野の製品拡大



永久磁石着磁装置。

事業の背景・目的

当社は電磁クラッチ・ブレーキの製造販売を行っている。その製品群中のコンビパームは、主に産業用ロボットや医療機器等に使用されているが、永久磁石式電磁クラッチ・ブレーキのコア部分に組み込まれる永久磁石を磁化させる着磁装置を所有していないためコア部分は

主にドイツからの輸入か一部国内の協力企業に外注して対応している。そのため、製造や新製品開発を行う上で最も重要なコアとなる部分を外部に依存している状況で、開発能力の向上、製品の短納期化、ローコスト化、特殊品対応力向上等の面で大きな制約となっている。

企業データ

電磁クラッチ・ブレーキ及びそのユニット、インバータ・サーボシステム、減速機つきモータ、及びその付帯装置の製造、メンテナンス
電磁クラッチ・ブレーキの全製造工程に関連する設備、検査装置を保有し、一般炭素鋼の機械加工、特に端面深溝加工を得意とする



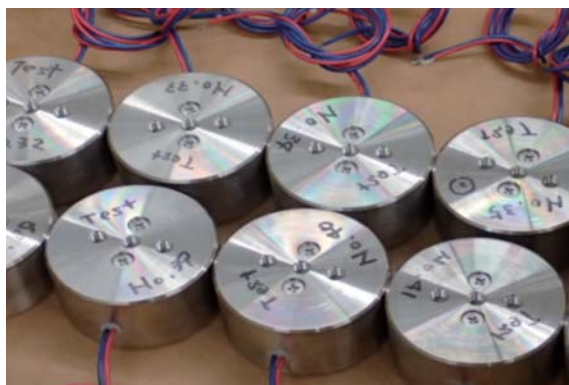
ケーイーピー・ジャパン新庄工場

代表者	吉田 仁
住 所	新庄市大字福田字福田山711-103
電 話	0233-29-2800
F A X	0233-29-2802
e-mail	info@keb.jp
U R L	http://www.keb.jp
設立年	昭和51年9月
資本金	2億8,000万円
従業員	45名

事業内容

着磁装置を導入し、永久磁石式電磁クラッチ・ブレーキの開発から生産までを当社事業所内で一貫して行える体制の構築を進めた。

着磁装置を導入したことで、当社生産プロセスの強化が可能となり、永久磁石式電磁クラッチ・ブレーキを国内開発・生産する体制を構築し、顧客ニーズに対応すべく、短納期化、ローコスト化、特殊品対応力向上化を実現する。



着磁後のサンプル。

事業の成果

永久磁石式電磁クラッチ・ブレーキのコア部分の試作品製作（着磁）に成功した。

次に、生産体制の構築のためにサンプルによる確認作業を行った。具体的には、50個のサンプルを使用した着磁装置の生産能力テストを行い、要求される着磁精

度を満足する安定した着磁能力が認められたため、永久磁石式電磁クラッチ・ブレーキの最も重要なコアとなる部分を外部に依存せず、当社事業所内で一貫して行える体制になり、今後の生産に対して十分に対応できる生産体制が構築できた。

今後の展望

今後は大手との差別化を図り自社ならではの展開として、顧客のニーズにあわせた特殊品に対応していく。また、永久磁石式電磁オフ・マグネットは使用用途の幅が広いので、成長分野である産業ロボットや医療機器関係の分野を中心に、可能性のある多くの分野に参入を目指していく。



製品化された永久磁石式電磁オフ・マグネット。